

公民館だより

59.12
由良地区
公民館

お互いに手を結びあつて

コミュニティづくりを

館長 藤本 秀雄

今日の社会状況は、物理的に豊かになった反面、精神的生活面の貧困化が進み、心の問題がおろそかにされていると思ひます。今こそ人間尊重の精神を基底として、信頼感や連帯感に満ちた地域づくりが大切だと考えます。先日、コミュニティづくりについて、ある人が、次のような言葉を教えてくれました。

- コ 混迷と変化の時代に
 - ミ 未来の幸福を目ざして
 - ユ 豊かな生活をつくるために
 - ニ にこやかに助け合つて
 - テ 手を結び合い 共に
 - イ 生きがいのくらしをつくる
- 先ず、一人ひとりが心、行い、言葉、環境の四つを大切にすることを心がけ、家族へと進み、更に近隣、地域とお互いに手を取り合

って進み、明るい人間関係をもった地域づくりをしたいものです。



報告 (一)

主事 平間 克己

一、四部対抗球技大会 八月十四日(火)

管理野球の嫌いはあるが、時間的規制を敢えてしなければ時間口スは解消ならず、また、それはしなければ審判員の苦勞が多結果になる。出場選手の協力により、二年間の希望が実り、スムーズな試合運びとなりました。全体としては、未だ完全ではないが、今後これの経験を生かして、よりよい運営も可能かと思ひます。

青年野球軟式野球

優勝 勝 第四部 (二連覇)
準優勝 勝 第二部
一般男子ソフトボール

優勝 勝 第三部 (二連覇)
準優勝 勝 第二部

二盆踊り

新盆より盃蘭盆の方が踊り手が多いだろうと、昭和五十四年の盆踊りより約五年間続いた盃蘭盆の盆踊りは、その間運営審議会でも話題となり、なお、踊り手の少ないことが話題となったので、今年は踊り安「由良小唄」を選曲し、浴衣にも踊ってもらおう計画をして開催したが、予想を裏切り寥々たる態で、婦人会、老友会、一般の方々の参加により、やっと一巡を済つことが出来た。何といつても、盆踊りは地元の皆さんのご協力を戴かねば盛んになりません。それならば、矢張り盃蘭盆が適当かと反省しています。また、時間的内容も午後八時より午後十時迄に拘わることなく、例之一時間でも精一杯満足して踊って戴ければ良いのではないかと思ひます。

三史跡めぐり

昨年度は大雪のため残念ながら見送った

ので、今年度は夏の終り頃を選び、兼之中西俊夫氏、小谷一郎氏のご兩人に福知山方面の史跡の調査を依頼し、二回に亘り綿密に調査され、プリントも完成されました。小谷一郎氏には、由緒のある神社、格式ある佛寺等ご案内、ご説明を願ひ、意義深い一日を過しました。

報告 (二)

一 藤本館長、文部大臣賞受賞

藤本館長は、去る十一月五日、松永文部大臣より社会教育功勞賞を授与されました。これは、館長が永年に亘り宮津市や京都府の社会教育委員をされ、なお、公民館をはじめ、多くの社会教育関係の委員をされている功績によるもので、京都府から二名の方が表彰されました。

二 由良女子バレーボールチーム優勝

宮津市民バレーボール大会が、十一月十一日(日)にマリオンピアで開催され、女子ブロンズ戦において見事優勝し、優勝力

64

あいさつ運動アンケート 集計表

設	期	小学生(5・6年生)			中学生(中1・2年生)			中学生(栗田在任)			婦人会	
		男(人)	女(人)	%	男(人)	女(人)	%	男(人)	女(人)	%	人	%
(1) 家であいさつをしますか	おはよう ただいま おやすみ	17	23	89	17	12	64	7	6	65	-	-
		19	26	100	20	21	91	11	9	100	-	-
(2) あいさつをすることが 良いことと思えますか	思います わかりません	18	25	96	19	20	87	11	5	80	-	-
		1	1	4	3	3	13	0	4	20	-	-
(3) 近所の人とあいさつ をしますか	していません しません	14	24	84	17	20	82	8	9	85	-	-
		5	2	16	5	3	18	3	0	15	-	-
(4) あいさつをすること により友達と明るく なると思えますか	なつた ならない わかりません	-	-	-	2	12	31	2	5	35	-	-
		-	-	-	4	0	8	0	0	0	-	-
(5) あいさつの輪を広げ ることは社会的に	よい わかりません	-	-	-	16	21	82	10	6	80	-	-
		-	-	-	6	2	18	1	3	20	-	-
(6) あなたの子供はあ いさつをしますか	おはよう ただいま おやすみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	94
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	92	96
(7) あいさつをすること により、親子の仲が明 かると	思います	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96	100
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(8) お母さん、あなた から先にしますか	親から先に 子供が先に	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	58
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	62
(9) 今後ともあいさつを 続けたいか	続けます わかりません	18	23	91	17	20	82	7	5	60	96	100
		1	3	9	5	3	18	4	4	40	0	0

アンケート分析

(1) について 「ただいま」、「おやすみ」は、小学生中学生共に多い。

(2) について 「思います」の答が、小学生の方が中学生より九割多く、従って「わかりません」の答は、中学生が小学生より九割多い。

(3) について 「していません」が「していません」より四倍以上多く、小学生、中学生、略全率である。

(4) について 中学生のみの設問だが、「わからない」が意外に多い。正直に答えたのかも知れないが。

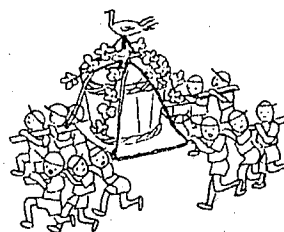
(5) について 賛成の意見が多い。由良在任、栗田在任共に賛成意見が略同数である。

(6) について お母さんの意見だが、小学生のみがお母さんの推量より多いが、中学生は由良も栗田もお母さんの推量より低い。由良、

三由良無形文化財保存会の世話役決定

トップを獲得しました。

	太鼓			祭囃子			踊		
	氏名	年齢		氏名	年齢		氏名	年齢	
脇	田畑仙蔵	72		佐原善四郎	76		磯野睦子	50	
	熊田熊一	88		柘田虎夫	72		熊田熊一	88	
宮本	大石一恵	54		塩本正三	69				
	森田精二	47		田中由雄	72		森田くま	78	
浜野路	北野誠治	49		糸井孝孝	44		森田登代子	56	
	山田善男	47		西繁治	72		市場よし	71	
港	山田武治	47		藤本修	52		酒田八重子	53	



由良無形文化財保存会の

世話役決定について

由良公民館長 藤本秀雄

昨年十一月の公民館だよりにて、由良無形文化財の保存の必要性を申し上げてまいりました。漸く脇、宮本、浜野路、港の四地区より全世話人のご推挙により決定をみました。由良文化にとりまして、誠に喜ばしいこととさせていただきます。

幸い各世話人は、同文化財に対し、豊かな経験と実行力に恵まれ、益々の発展を期待する次第です。

申す迄もなく、先祖の残してくれた尊い伝統を正しく受け継ぎ、次の世代に残すべく行くことこそ重要なことではないでしょうか。と申しましたも、由良自治会をはじめ、地区の皆様のご協力を賜らねば不可能なことです。何卒同地区の世話人の方々にご協力下さいますよう、節にお願ひ申し上げます。



栗田とも同数である。
(7)について

同じくお母さんに対する設問であるが、賛成意見が一〇〇%である。

(8)について
子供からのあいさつは、やや多い。

(9)について
賛成意見は、小学生、お母さんは断然多いが、中学生の部では、由良在住が栗田在住の中学生より二二%多い。また、「わからない」の設問に対し、栗田在住の中学生が四〇%あるのは、少し多いと思う。

総論として、「わからない」の答は、中学生に多いところに問題が残っている。このことは、家庭的にもっと話し合いをする機会をつくって欲しいと思う。

あいさつについて感想文

〈家庭の主婦〉

1. 一日のはじまり、人と人とのつながりの

あいさつは、とても大切だと思います。
2. けじめがあつて、気持ちがあつてきりから、あいさつは大事にしたいと思つてい

ます。
3. 低学年の場合は、子供の方から云々ま

ます。高学年になると、なかなか云わない。大人の方から出来るだけあいさつするよう

にやってみようと思つてい

ます。明るい元気があつて出来るよ

う努力します。

お母さんの

笑顏の一声 明るい家庭

福知山の史跡めぐりを終えて

今年の史跡めぐりは、八月二十六日八時二十分出発、観音寺―阿比地神社―庵我神社―三段池―福知山文化資料館―天照玉命神社―長安寺のコースで催しました。

福知山といいますが、丹後と少し違った感じがあるわけですが、丹後の古代豪族である海部氏とのつながりを示す伝承の多いところで、今回のコースの中に組まれてある阿比地神社、天照玉命神社は、何れも延喜式のお格ゆかしい神社で、これが海部氏の祖先神とされる彦火明命をまつるものであり、府中の籠神社とつながりのあること。そして、海部族の浦島伝説とその周辺に残されていることは、現地で説明したとおりです。

この史跡めぐりに参加された方は、そのとき「しおり」を時折り出して見ながら、これから後、福知山の方へ行かれるときの参考にしてほしいものだと思います。

史跡めぐりには、社寺の文化財ばかりでなく、地域の人達がその土地の公民館などの施設に、その土地の文化財を大切に保存されて

いる様子も見たいと思つて計画に入れましたが、今回は都合がつかず、それが見られずに残念なことでした。

文化財というのは、それを見たいと思う人や研究したいと思つている人には、何時でも展示できるように保管されていなければなりません。そういうことを、地域の人がやっているということとは有難いことだと思つてい

ながらも、そういう仕事の中でよく保存するということはおぼろしいことです。それをどのようにやってもらえるのか、そんなことも今後は見えていきたいと思つてい

〈付記〉

近頃の都会では、民具ブームが起つているのに乗じて、村々の民具類を買い集めて来る人もありますが、気を付けて下さい。

昭・五十九・十一・十四 (小 谷)

「ゲートボールをしてみませんか。」

由良老友会

晴れた日、広いコートを開いて「カチーン」とひびく球の音に高い歓声がはずむ。今日もゲートボールに興じる老友会の仲間です。

一試合の時間は、三十分。赤と白のボールに分かれ五名づつ対抗で、お互いに作戦をねり、自分達チームを有利に導き、相手チームを負かすことに熱中する。遠いところのボールをねらってタッチしたとき、タッチした他球を自分の思うところへスパーク出来たとき、苦労して漸くゲートを通過出来たとき、ゴールポールに一直線狙いが命中して上ったときの壮快さは、何もかも忘れて楽しいときです。

勝ち負けは時の運、技術は大切ですが、時には技術の差を超えて幸運で勝負の決する偶然性も多く、それだけに一層この競技の楽しさがあるように思われます。

老友会では、健康づくりと仲間づくり、老人に夢と希望を与え、病気を忘れて老化防止に役立てばとゲートボールの普及に努めてきました。最初は、小学校の広場を借りて練習

をはじめました。昭和五十六年頃に、四方先生のご好意により、海岸の千鳥荘裏の土地を無料で貸していただき、適当なコートも出来ました。

雨の降らない日は、毎日午後になると同好の人が集って、二、三時間程を練習に、試合に打ち興じています。

昭和五十八年には、「宮津ゲートボール協会」が発足、由良からも同好者が入っています。昭和五十九年九月には、老友会のバックで、「由良ゲートボール同好会」を発会しました。年齢、男女を問わず、ゲートボールをやるうという人達に入ってもらって頂いて、三十人程の会員も出ています。

老若男女、体力の差を気にしなくてもよい、誰でもすぐ出来る軽スポーツとも呼んでみたらと思えます。度々の親善試合で、勝負にこだわらず、相互の親睦もよし、新しく知り合いになった人との交流も楽しいものです。

対話のある社会と、楽しい明日をつくるゲートボールをやってみませんか。今やゲート



ボールは、若年層の人々へも着実に浸透してきています。大空の下、何もかも忘れて、この競技に熱中してみませんか。ストレスの解消にはもってこいです。

雨の降らない、おだやかな日の午後には、千鳥荘さまの裏のコートへ来てみませんか。一度お入りになってやってみませんか。

当会の大会出場の成績は、次のとおりです。

宮津ゲートボール大会で

昭和五十六年度第一回大会 優勝

昭和五十九年度第四回大会 準優勝

宮津市婦連バレーボール大会

糸井久枝

十月二十八日、第六回宮津市婦連バレーボール大会が、宮津中学校で開催されました。参加チームは十四チームで、四つのゾーンに分かれ、その中で落したセントの少ないチームが勝者となり、準決勝、決勝と駒を進めるシステムです。

由良からも二チームが出場し、私も由良Bチームとして試合にいとみしました。

婦人会の役員さんをはじめ、会員の方々の応援の中、普段の練習の成果を十分発揮して好試合を展開することが出来たものと自負しております。

チームは、準決勝で栗田と接戦の末、惜しくも敗れ、三位という結果に終わりました。



学生の中には、卓球はしていたものの、バレーはとんとにがで、バレーをしたいとも思わなかったのに、余りの有りに悩んでいるときに、友達にバレーをしてみたら有りかがあるかもしれないと誘われたのがきっかけで、バレーサークルに行くようになり、今年で五年の月日を重ねました。バレーをしてみると以外におもしろく、うまくサーブや

アタックが受けられたとき、トスがうまく上がったとき等、本当にうれしくなります。四十を越えた身体に、時として抵抗を感じることも多々ありますが、市婦連のバレー大会に五十を過ぎても選手として出場していら

る人もあると聞きました。私も健康に留意して、出来るものなら来年も、そして再来年もバレーを続けて行きたいと思っております。バレーサークルも、最近は何い男性が増え、時には息子・娘のような年代の人達と一緒に楽しくバレーをしております。「皆の足をひっぱっているんところがう」と娘に笑われながらも、今日も走り出している私です。

◇ — ◇ — ◇ — ◇ — ◇

由良野球クラブ紹介

山田 徹 男

由良青年野球クラブに対して、みなさま方の絶大なご協力ありがとうございました。
 由良クラブの歴史と上部団体の試合の紹介をしてみたいと思います。
 由良クラブの構成は、由良在住者のみで構成し、野球技術の向上及びスポーツサークル活動の躍進をモットーに努力しております。
 由良クラブ
 創部 昭和四十九年
 現在 宮津市野球連盟加盟 B級

現在部員数 十五名
 本年度戦績

公式戦 優勝一回、準優勝一回
 宮津市地域対抗野球大会 優勝
 高松宮杯京都大会 準決勝進出
 今までの戦績

宮津市代表として、高松宮杯京都府予選、西日本京都大会 六度出場
 クラブの発足は、毎年八月に行われている宮津市地域対抗野球大会で、ここで好成績をおさめましたので、前由良駐在所の森上敏夫氏のもとに十数名の有志により発足し、宮津市野球連盟に加盟しました。当初は初戦敗退が続きましたが、練習を週一回(日曜日)、試合一週間前に行っているうちに、部員の技術向上もあり、また、新入部員も入部し、現在は宮津市野球連盟B級でも優勝を成しとげる力をつけてきました。
 しかし、ここ近年部員も高齢化し、退部する者もあり、若い力を必要とする現在、入部者も少ないため現状維持が困難になりつつありますので、野球に熱意のある方の入部を希望しています。

駐在所からのお願い

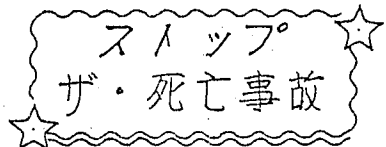
由良駐在所 安藤 義政

「がっちり守って 明るい新年」
 あわただしい年の瀬は、あきすやひったくりが多発します
 ドロボーも必死でうの目、たかの目です
 ちよっとの外出にも必ず鍵をかけて下さい
 みんなで年末の犯罪を締め出し
 事故のない、楽しい、明るい新年を
 むかえましょう



さあ、みんなで
 年末警戒を!!

宮津警察署管内では、交通事故死亡者が六名という悲しい結果が表われています。そこで警察では、十二月三十一日まで、緊急死亡事故抑止対策として交通取締りを強化し、徹底した街頭活動を行います。
 ドライバーのみならず
 家族のためにも安全運転を!

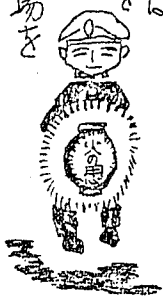


おとてより「いま」が

大切 火の始末

宮津市消防団由良分団

- ◎ たばこの投げ捨て
寝たばこはやめましょう
- ◎ 幼児、老人を残しての外出は
できるだけ避けましょう
- ◎ ガスの元栓は使った後は
必ず閉める習慣をつけましょう
- ◎ 火を使うときは、その場を
離れないようにしましょう
- ◎ 子供に火遊びを
せつたいにさせないように



毎月十二日は宮津線に乗り

宮津線は
 危機に直面しています
 “乗って守ろう” 宮津線

